

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4542
25年5月2日(金)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

祝 第96回 メーデー開催

おはようございます。

5月1日(水)第96回メーデーが開催され、支部からも例年通り長崎地区メーデー、メーデー長崎県集会に参加しました。

メーデーは労働者の祭典でたかうメーデーといわれますが、その歴史は古く一三八年前の一八八六年のアメリカのシカゴにあります。

このシカゴの労働者が厳しかったたかいの末、八時間労働制を勝ち取ったことから、世界的にはこの日をメーデーの起源とし、続く一八九〇年の五月一日に、欧米の労働者が国際的なメーデーをそろってたたかいます。

日本では一九二〇年(大正九)年五月二日(日曜日)に東京上野公園に一万人の労働者が集まり、

二キロのデモ行進を行ったことが始まりです。当時メーデーは無論、労働運動も許されない時代でしたので、弾圧も厳しく、逮捕覚悟の集まりでしたので、たかうメーデーでした。

長崎地区労 メーデー

五島町公園で開催された長崎地区労メーデーには組合員、退職者含めて10名が参加しました。当日は8時30分より

新社会党のビラ配布から行動はスタートしました。ビラの受け取りはよく、ほとんどの参加者に手渡すことができました。



9時、集会は高地区労副議長の司会でスタート

しました。長崎地区労を代表して松尾地区労議長が挨拶を行ったあと、来賓挨拶では、米村平和センター議長、西岡秀子国民民主党県連代表、社民党長崎総支部池田章子代表、立憲民主党長崎県連あいばあつ子幹事長代行が挨拶を行いました。その他にも地区労推薦の議員が簡単な挨拶を行い、最後は議長の団結ガンバローで集会を締めくくりました。

メーデー 長崎県集会

魚の町公園で開催された第96回メーデー長崎県集会には、現役組合員を中心に8名が参加しました。集会は実行委員長の山岸春闘共闘議長の挨拶でスタートしました。来賓挨拶、メッセージ紹介と続きリレートークでは7つの組合、団体が壇上に登り発言を行いました。支部もリレートークのトリを飾る7番目に壇上にあがりました。



集会終了後、デモ行進へと出発しました。交通規制が行われる中、各組合が組合旗を掲げゴールの江戸町公園を目指しスタートしました。デモ行進は30分程で江戸町公園に到着し流れ解散となりました。解散後、現役組合員を中心にメーデー長崎県集会の開催場所の魚の町公園に向かいました。



マイクを握った佐田執行委員は、「25春闘で会社は時給制契約社員にはベアゼロを回答した。郵政ユニオンは3月18日

に抗議のストライキを決行したが、交渉は決裂した。時給制契約社員の賃上げは10月の最賃引き上げにかかっている。昨年に続き今年も最低賃金審議会に意見書を提出したい」と発言しました。



集会はスローガン採択、メーデー宣言採択と続き、最後は山岸春闘共闘議長の団結ガンバローで締めくくりました。主催者発表では全体の参加者は約300人でした。

集会終了後は鉄橋までパレードを行い流れ解散となりました。両メーデー終了後は恒例の昼食会を開催。久しぶりに顔を合わせる退職者も参加され、昔話に花さかせました。

期間雇用パート労働者の皆さん! 困りごとは職場の郵政ユニオンへご相談を。
1集-海江田, 2集-向井, 3集-山田, 支部・分会の役員へ。

郵政ユニオン長崎の
ホームページはこちら



仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員の希望を全員の正社員化を。ゆげせ、均等待遇、なげんご差別。ユニオンは労契法裁判に勝利すべし!